

# キンダーブック2 12月号

表紙の絵から

編み物が得意な羊さんです。しましま模様の長〜いマフラーはだれのために編んでいるのでしょうか？ ヒントは、このマフラーにぴったりなからだをもつ、来年の干支です。次号はへびさんが得意なことを教えてくださいますよ！



## びよーん おもち

**ねらい** お餅ができるまでのようすを観察しましょう。

お餅がよく伸びる特性を伝えるしかけです。「どのくらい伸びるかな？」と声をかけてから上へ引っ張ってみせると盛り上がりそうです。また、お餅のいろいろな食べ方や、もち米からできるほかの食品も紹介しています。「どれが好きかな？」「どうやって食べてみたい？」などと話してみてください。

きな とうす 杵と臼でついてできるやわらかいお餅は、何からできているかのクイズです。「餅つきをしたことはあるかな？」などと声をかけて、考えてみましょう。



炊いたもち米から、よく目にする丸や四角形のお餅が作られるまでの過程を見てみましょう。もち米は粘り気が強いのでよく伸びることを伝えて、ふだん食べているお米との違いを観察します。



## ＊ あたらしい ルールを かんがえよう！ ＊



**ねらい** みんなが楽しむことのできるルールを考えましょう。

**つかい方のポイント** 足の速い子しか勝てない状況から、みんなで楽しむにはどうすればよいか話し合います。保育者がようすを見ながらアドバイスをし、うまくいかない場合はまたルールを変えてみるなど、工夫しながら楽しめると思います。



## ＊ なにを つかって たべる？ ＊



**ねらい** 料理に合わせてつかいやすい食具を選びましょう。

**つかい方のポイント** 「スパゲッティを食べるには、何をつかったらいいかな？」などと、料理に合う食具を考えましょう。箸をつかうのがまだ難しい子も、誌面で紹介されている箸をつかった遊びで練習すると楽しく挑戦できそうです。

## 「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

### 絵本をつかった 指導計画の文例

毎月季節の折り紙遊びがダウンロードできます！



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/origami>



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
 <b>「びよーん おもち」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もち米からお餅になるまでの変化を知る。</li> <li>餅つきやお正月など行事を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にもち米とうち米を用意して、子どもたちが見たり触ったりできるようにする。</li> <li>餅つきやお正月の話など、行事に関連した絵本や図鑑を子どもたちがいつでも手に取れるところに置いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境</li> <li>表現</li> <li>健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な心と体</li> <li>豊かな感性と表現</li> <li>思考力の芽生え</li> </ul>
 <b>「あたらしい ルールを かんがえよう！」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっしょに遊ぶ友だちのようすを気にする。</li> <li>みんなで考えたり、話し合ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが楽しめていない状況があれば、それを子どもたちが気づけるような声かけをする。</li> <li>なるべく子どもたち同士で話し合えるようにして、保育士はようすを見ながら助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係</li> <li>言葉</li> <li>表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協同性</li> <li>思考力の芽生え</li> <li>言葉による伝え合い</li> </ul>